

## カンゴク沢右俣

1994年7月9日

L5

標高1260m付近の尾根上から、カンゴク沢の右俣めざして下降に移る。すぐに支沢と出会い、水流が出てきた。右俣本流に出ると2mの小滝があり、その後左岸から同規模の支沢が合流した先には小滝が4つ連続していた。

さらに下降を続ける。ナメと小滝を過ぎると、右俣最大の滝6m。難なく下る。そのすぐ下に、左俣を遡行していった時二俣から見えていた滝である3段5mの滝。ここも簡単に下ると左俣と合流し、右俣の下降を終了する。(記・穴戸宰務)

[タイム] 尾根(10:45)→下降終了(11:40)

## 南沢(上部)

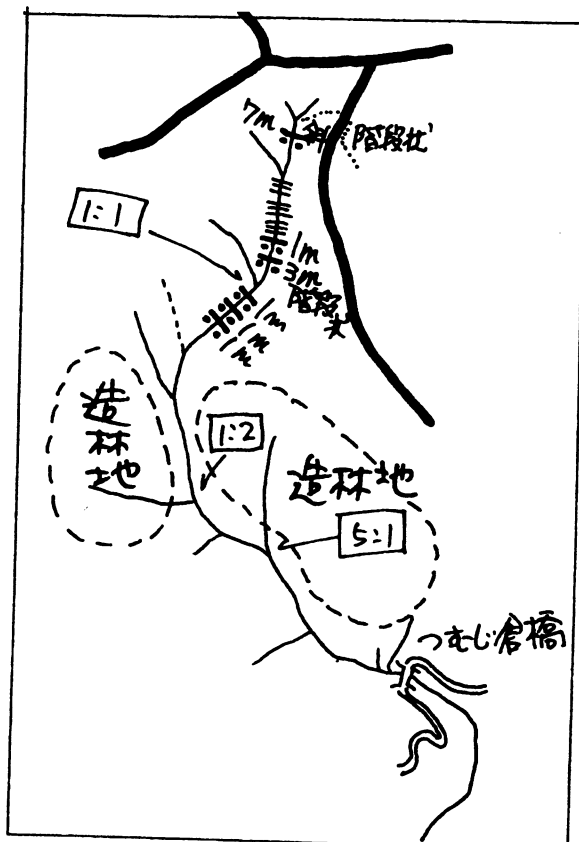
1994年8月27日

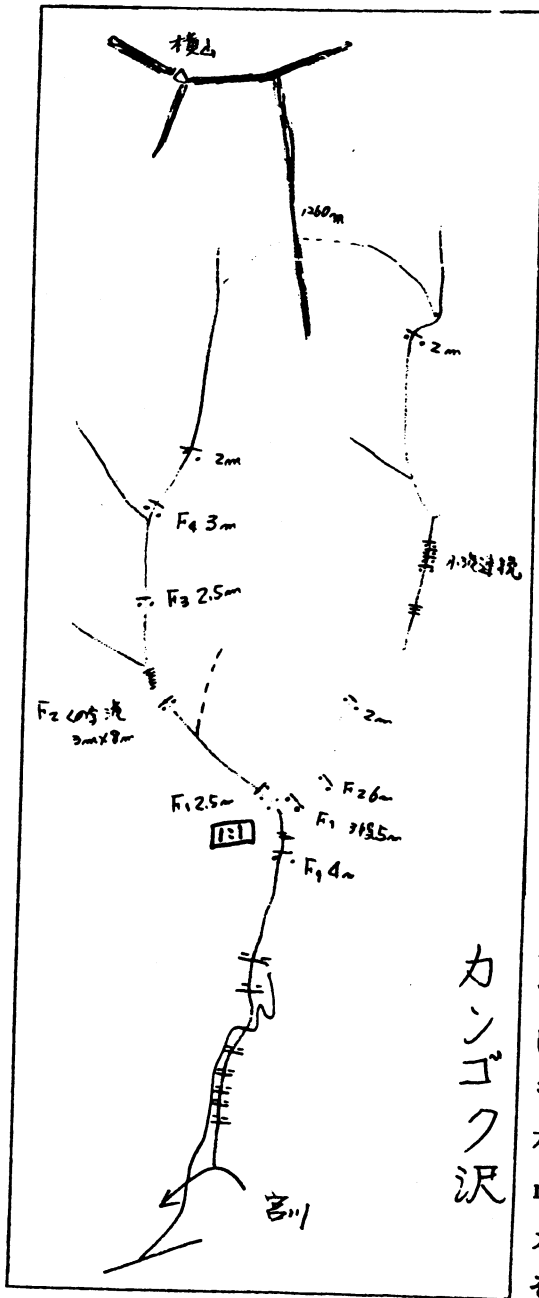
L5

博士山登山口の貯木場跡の広場から、車で南沢にかかるつむじ倉橋に向かう。橋の手前に車をデポし、身支度を整えて沢に降り立つ。そう広くない河原だが、鬱蒼として、まんざらでもない。

左岸から小沢が入る。するとすぐ左岸側が明るく開け、造林地が広がっていた。灌木が覆いかぶさって歩きにくい。右に左に支沢を分けるが、本流を忠実につめる。

造林地を過ぎるあたりから、1mほどの小さな滝だが、連続して出てくる。3mの滝を過ぎ、50mほどのナメが断続して出てくると、高度を上げ始める。角度のゆるい7mのナメ滝を過ぎると、稜線まではもうすぐである。そのまま進





てくるまで背の高いササに悩まされる。ようやく水が出てくるとササのヤブこぎからは解放されるが、それでも灌木が邪魔で歩きにくい。左俣（カツラ沢）出合までに2mほどの小滝が2つ出てきただけで、たいした変化もないまま下降を終える。カツラ沢出合からは作業用の踏跡をみつけながら林道に出る。  
(記・)

[タイム] 尾根(10:55)→沢源頭(11:20)→カツラ沢出合(13:25)→林道(13:45)→ゲート(14:10)

### 宮川支流カンゴク沢左俣

1994年7月9日

L!

砂防ダム脇の広場に車を置き、沢に入る。ほどなく4m滝を通過。この後すぐ二俣となり、左俣に入る。右俣には3段5mの滝が見えていた。左俣にもすぐ2.5mの滝がかかり、直登する。右より溜沢が入ると、その先に高さ3m、長さ8mのくの字滝がかかる。ナメ沢を歩いてゆくと左から小沢が入り、その先に3つの小滝があった。やがて

水もなくなる。右手の尾根に登って遡行終了とする。

(記・)

[タイム] 砂防ダム(7:20)→二俣(7:35)→遡行終了(8:35)→尾根(9:40)